

2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年10月25日

上場会社名 株式会社 ODKソリューションズ 上場取引所 東
コード番号 3839 URL https://www.odk.co.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 勝根 秀和
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 作本 宜之 TEL 06-6202-0413
四半期報告書提出予定日 2023年11月2日 配当支払開始予定日 2023年12月4日
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	1,935	3.4	△284	—	△270	—	△203	—
2023年3月期第2四半期	1,871	8.5	△390	—	△375	—	△271	—

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 △178百万円 (—%) 2023年3月期第2四半期 △279百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	△25.15	—
2023年3月期第2四半期	△33.18	—

(注) 2023年3月期第3四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2023年3月期第2四半期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	7,796	5,578	71.6	688.96
2023年3月期	8,537	5,797	67.9	715.95

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 5,578百万円 2023年3月期 5,797百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
2024年3月期	—	5.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,200	11.4	340	△19.2	360	△19.9	240	1.4	29.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	8,200,000株	2023年3月期	8,200,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	102,712株	2023年3月期	102,712株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	8,097,288株	2023年3月期2Q	8,195,699株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記予想は、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項は、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(企業結合等関係)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

前第3四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前第2四半期連結累計期間との比較・分析にあたっては、暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しが反映された後の金額を用いております。

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、2023年5月に新型コロナウイルス感染症の位置付けが5類感染症に移行したことを背景に、景気は緩やかな回復基調となりました。しかし、円安にともなう物価上昇が継続しており、海外における金融政策や紛争による影響等に注意を要する状況となっております。

情報サービス産業におきましては、人手不足への対応やデジタル化による自動化・効率化・省力化等システム投資への関心は依然として高く、IT活用の流れは堅調に推移しております。〔経済産業省特定サービス産業動態統計(2023年8月分確報)より〕

こうした環境下、当社グループでは、中期経営計画(2024年3月期～2026年3月期)の基本方針に「ODKグループ拡大」を掲げ、「新事業ポートフォリオの推進」「グループシナジーの創出」「M&A・アライアンスの推進」を本年度の重点課題として様々な施策に取り組んでおります。

当社単体としては、中期経営計画の基本方針に「専門性の強化による新たな価値の創造」を掲げ、「個別収益管理の深化」「コンサル機能の発揮」「研究開発の推進」を本年度の重点課題として取り組んでおります。

グループ及び当社単体の重点課題に対する具体的取組みとしては、体験実績をNFT(※1)活用により証明する次世代型ソリューション『アブデミー』を基幹に、多様なサービス開発をすすめております。その取組みの一つとして、連結子会社である株式会社ポトスが、キャリア体験プラットフォーム『キャリアポート』の提供を開始いたしました。これは、従来就活(短期集中型の新卒一括採用)からの脱却を目指すもので、キャリア体験蓄積型就活の社会実装を目指すものであります。顧客企業と共に学業に過度な負担をかけないキャリア形成の準備機会を提供し、体験実績NFTの発行により取組みを可視化することで、低学年から無理なく企業接点を獲得できるプラットフォームとなっております。

また、新NISA制度の見直しや金融リテラシーの向上など、個人の投資を促す施策が推進される中、システム関連の需要が高まる金融業界に向けて、証券取引の各サービスを『SAKIX(サキガケ)』シリーズとして刷新し、その中核サービスである『WITH-X(ウィズクロス)(※2)』を新たなユーザに提供開始いたしました。

その他、『UCARO』をデータプラットフォームとして各事業領域をつなぐハブに育成するとともに、外部接点強化やサービス拡張等により保有するデータ量・種類の拡大を目指しております。今後も同サービスを軸とした成長戦略により、データビジネスによる新たな価値の創造を継続してまいります。

業績面では、証券業務『WITH-X』や『KIZUNA-X(キズナクロス)(※3)』、子会社エフプラスの既存顧客との取引深耕による売上の増加等により売上高は1,935,058千円(前年同四半期比3.4%増)となりました。退職給付費用及び開発・運用体制の適正化による外注費の減少等により営業損失は284,316千円(前年同四半期は営業損失390,937千円)となりました。また、経常損失は270,288千円(同経常損失375,384千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は203,612千円(同親会社株主に帰属する四半期純損失271,942千円)となりました。

当社グループの事業は、大学入試業務をはじめとした利益が第4四半期連結会計期間にかけて増加する傾向にあるため、第2四半期連結累計期間の売上高は相対的に少なくなる傾向にあります。しかし、人件費等の固定費は四半期ごとに変動する性質ではないため、結果として、第2四半期連結累計期間の利益が、他の四半期に比べ極めて低い水準にとどまり、例年第3四半期まで損益はマイナスであります。通期では当該マイナスは解消されております。

(※1) NFT :

Non-Fungible Token の略語。ブロックチェーン上でその唯一性が保証されているトークンであり、暗号学的にその保有や来歴を証明することが可能です。

(※2) WITH-X(ウィズクロス) :

証券会社におけるフロント業務からバックオフィス業務の機能を備え、柔軟なカスタマイズが可能な証券総合システムです。

(※3) KIZUNA-X(キズナクロス) :

金融商品仲介業者(IFA)向けの投資信託Web取引、管理システムです。

売上高の内訳は次のとおりであります。

<システム運用>

既存顧客との取引深耕による証券業務『WITH-X®』や『KIZUNA-X®』の売上増加、前第2四半期連結会計期間に譲受した人材育成サポート事業の売上等により、1,799,853千円(前年同四半期比1.5%増)となりました。

<システム開発及び保守>

証券業務『KIZUNA-X®』関連開発等により、99,476千円(同43.7%増)となりました。

<機械販売>

医療システム用タブレット製品の販売等により、35,728千円(同18.1%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べて741,470千円減の7,796,413千円となりました。これは主に売上債権の減少によるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べて522,932千円減の2,217,716千円となりました。これは主に長期借入金の返済による減少であります。

純資産は、前連結会計年度末と比べて218,537千円減の5,578,696千円となりました。これは主に利益剰余金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績は、概ね当初予想どおりの推移であり、通期連結業績予想につきましては、2023年4月28日に公表いたしました連結業績予想と変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,811,258	3,109,163
売掛金及び契約資産	2,253,528	1,021,422
商品	24,750	8,250
仕掛品	23,258	29,092
その他	117,900	198,613
貸倒引当金	△2,178	△939
流動資産合計	5,228,516	4,365,602
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	92,950	86,795
工具、器具及び備品（純額）	95,923	78,117
リース資産（純額）	149,106	119,835
建設仮勘定	—	8,520
有形固定資産合計	337,981	293,268
無形固定資産		
のれん	83,962	79,204
顧客関連資産	93,425	88,375
ソフトウェア	1,105,993	1,137,319
ソフトウェア仮勘定	177,441	229,824
その他	7,454	9,587
無形固定資産合計	1,468,277	1,544,311
投資その他の資産		
投資有価証券	978,678	1,009,103
繰延税金資産	231,146	296,732
差入保証金	172,363	171,653
その他	120,919	115,742
投資その他の資産合計	1,503,108	1,593,231
固定資産合計	3,309,367	3,430,810
資産合計	8,537,884	7,796,413

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	234,917	131,909
短期借入金	316,349	317,183
リース債務	60,917	59,370
未払金	120,156	67,207
未払費用	96,325	130,113
未払法人税等	147,132	17,827
賞与引当金	127,830	138,716
その他	329,975	217,048
流動負債合計	1,433,604	1,079,375
固定負債		
長期借入金	777,525	618,850
リース債務	100,426	70,642
退職給付に係る負債	429,093	448,848
固定負債合計	1,307,045	1,138,341
負債合計	2,740,649	2,217,716
純資産の部		
株主資本		
資本金	637,200	637,200
資本剰余金	695,020	695,020
利益剰余金	4,403,654	4,159,555
自己株式	△60,789	△60,789
株主資本合計	5,675,085	5,430,986
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	122,149	147,710
その他の包括利益累計額合計	122,149	147,710
非支配株主持分	—	—
純資産合計	5,797,234	5,578,696
負債純資産合計	8,537,884	7,796,413

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	1,871,887	1,935,058
売上原価	1,627,457	1,581,058
売上総利益	244,430	354,000
販売費及び一般管理費	635,368	638,316
営業損失(△)	△390,937	△284,316
営業外収益		
受取利息	267	30
受取配当金	15,198	16,984
受取手数料	506	483
保険解約返戻金	5,164	4,452
その他	1,123	215
営業外収益合計	22,260	22,167
営業外費用		
支払利息	3,274	2,717
投資事業組合運用損	2,872	4,507
その他	559	914
営業外費用合計	6,707	8,139
経常損失(△)	△375,384	△270,288
特別損失		
固定資産除却損	3,146	0
特別損失合計	3,146	0
税金等調整前四半期純損失(△)	△378,531	△270,288
法人税、住民税及び事業税	25,927	10,169
法人税等調整額	△128,134	△76,845
法人税等合計	△102,206	△66,675
四半期純損失(△)	△276,324	△203,612
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△4,381	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△271,942	△203,612

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純損失(△)	△276,324	△203,612
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,487	25,561
その他の包括利益合計	△3,487	25,561
四半期包括利益	△279,812	△178,051
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△275,430	△178,051
非支配株主に係る四半期包括利益	△4,381	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

(比較情報における取得原価の当初配分額の重要な見直し)

2022年7月1日に行われた株式会社クシムからの事業譲受について前第2四半期連結会計期間において暫定的な会計処理を行っていましたが、前第3四半期連結会計期間に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定にともない、当第2四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額に重要な見直しが反映されております。

この結果、暫定的に算定されたのれんの金額111,197千円は、会計処理の確定により70,114千円減少し、41,083千円となっております。また、顧客関連資産101,000千円、繰延税金負債30,885千円がそれぞれ増加しております。

なお、前第2四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書に与える影響は軽微であります。